

マハバーラト (03) / [08] カルンの章

0001. カルンがコウラウ軍の総大将になったあとのビームセンとクシエムドルッティの対決,

0002. ビンド、アヌビンド、チットラセン、チットラの死,

0003. アルジュンにマガド国王ダンドダールと弟ダンドが殺されたこと,

0004. アルジュンがサンシャプタクの兵士を全滅させ、アシワッタマがパンデヤ王を殺害したこと,

0005. カルンがナクルを敗退させたあとパンチャル国の勇士もあわせて撃滅したこと,

マハバーラト (03) / [08] カルンの章

0006. ウルーク対ユユットス、シュルトカルマ対シャタニク他の一騎打ち、

0007. ドルヨダンとカルンに対する、ユディシティル大王、アルジュン、サッチャキの戦闘、

0008. カルンのシャツリヤ大王を御者にとの申し出に、ドルヨダンが熱心に説得したこと、

0009. ツリプル（三都）の発祥と破滅の話、

0010. シャツリヤ王を御者にして出陣したカルン、

マハバーラト (03) / [08] カルンの章

0011. 軍車で出陣したあと、カルンとシャッリヤ王が激しく口論したこと、

0012. シャッリヤ王が、カルンに聞かせた白鳥とカラスのたとえ話、

0013. カルンとシャッリヤ王の激論をドルヨダンが仲裁したこと、

0014. コウラウ軍の新陣形、

0015. ユディシティル大王を敗北させたカルンをビームセンが敗退させたこと、

マハバーラト (03) / [08] カルンの章

0016. ビームセンがドルトラシトラ大王の息子数人とコウラウ軍の多数の戦士を殺害したこと、

0017. アルジュン対サンシャプタク国軍、

0018. クルプ尊者がスケトウを殺害、ドルシトデムナがクルトワルマとドルヨダンを撃退したこと

,

0019. アルジュンによるサンシャプタク国軍の撃滅とアシワッタマの敗北、

0020. アシワッタマの誓い、

マハバーラト (03) / [08] カルンの章

0021. 聖クリシナが軍車を走らせながらアルジュンに語った、コウラウ軍とビームセンの戦況、

0022. 両軍の戦士の一騎打ちとビームセンの奮戦、

0023. カルンに傷つけられたユディシティル大王が難を避けて陣屋に戻ったこと、

0024. 聖クリシナとアルジュンが、傷ついたユディシティル大王を見舞うために陣屋に向かったこと

,

0025. アルジュンに、聖クリシナが真理の本質を説いたこと、

マハバーラト (03) / [08] カルンの章

0026. 聖クリシナがアルジュンに授けた、誓いを守る方法，

0027. 聖クリシナが語る、ユディシティル大王に祝福を受けて出陣したアルジュンの奮戦，

0028. 勇者にふさわしいアルジュンの決意表明と奮戦するビームセンがアルジュンの来援を喜んだこと，

0029. コウラウ軍を撃滅し、ビームセンがシャクニを気絶させたこと，

0030. 聖クリシナとアルジュンの来援を見たシャツリヤ王とカルンの口論，

マハバーラト (03) / [08] カルンの章

0031. アルジュンとビームセンによるコウラウ軍の撃滅とカルンの奮戦，

0032. ビームセンがドシャサンの生き血を飲んで王室会議での誓いを果たしたこと，

0033. ナクルとカルンの息子ブリシセンの死闘、アルジュンによるブリシセンの殺害，

0034. ブランマ神とシウ神がアルジュンの勝利の予告をされたこと，

0035. アシワッタマの和議の提案を拒否したドルヨダン，

マハバーラト (03) / [08] カルンの章

0036. カルンとアルジュンの戦闘，

0037. 母の復讐に燃えるアシワセン龍に狙われたアルジュン，

0038. 聖クリシナがカルンを罵倒し、アルジュンが矢の攻撃で失神させたこと，

0039. カルン、アルジュンに殺害される，

0040. ビームセンとアルジュンを恐れてコウラウ軍の兵士が逃走したこと，

0041. ユディシテイル大王が聖クリシナとアルジュンを賞賛したこと ,

マハバーラト (03) / [09] シャツリヤの章

0001. ドルヨダンが戦争の継続を決定したこと、

0002. 聖クリシナがユディシティル大王に戦いを促したこと、

0003. シャツリヤ王の指揮のもとでの戦闘開始と、ナクルによるカルンの生き残りの三人の息子の殺害、

0004. シャツリヤ王に対するユディシティル大王とビームセンの戦闘、

0005. シャツリヤ王の大奮戦、アルジュン対アシワッタマの激闘、スラト王の戦死、

マハバーラト (03) / [09] シャツリヤの章

0006. シャツリヤ王の奮戦とユディシティル大王との激闘，

0007. シャツリヤ王の死，

0008. コウラウ軍の逃亡と兵士の奮起を促すためのドルヨダンの叱咤，

0009. シャルワ王の死、サツチャキとクルトワルマの戦闘、ドルヨダンの奮戦，

0010. 両軍の兵士による激戦とシャクニの陽動作戦，

マハバーラト (03) / [09] シャツリヤの章

0011. アルジュンがコウラウ軍の軍車隊と象隊を壊滅させたこと、

0012. ドルトラシトラ大王の十二人の息子の殺害、アルジュンによるツリガルト国軍の殲滅、

0013. シャクニとウルクの死、

0014. ドルヨダンが池の中に身を潜め、ユユットスがハスティナプールへ去ったこと、

0015. 獵師にドルヨダンの居所を知らされたユディシティル大王が大軍を率いて行ったこと、

マハバーラト (03) / [09] シャツリヤの章

0016. ドルヨダンがパンダウのだれか一人と錘つき棍棒による戦いを決意したこと、

0017. 聖クリシナがユディシティル大王を非難してビームセンを賞賛したこと、

0018. バルラームさまの聖地巡礼とプラバース聖地の威力、

0019. ウドパン聖地の発祥——ツリット仙人の物語、

0020. ビナシャンなどの聖地、ナイミシとサブトサルスワトの特別な説明、

マハバーラト (03) / [09] シャツリヤの章

0021. ヤヤト聖地の頌徳およびアルナ聖地で水浴をして解放された天帝の話 ,

0022. ソーム、アグニ、バダルパチャン聖地の頌徳 ,

0023. デワル、ジャイギシビヤ両仙人と老嬢ブリッドカンニヤの話 ,

0024. バルデウさまが、ビームセンとドルヨダンの決闘を見に行ったこと ,

0025. 全員がビームセンとドルヨダンの錘つき棍棒による一騎打ちを観戦したこと ,

マハバーラト (03) / [09] シャツリヤの章

0026. ビームセンとドルヨダンの凄まじい錘つき棍棒の一騎打ち，

0027. ビームセンが激しく罵倒し、ユディシティル大王が泣いたこと，

0028. ビームセンの不法な攻撃に怒ったバルラームさま，

0029. パンダウたちがドルヨダンの陣営を占拠し、アルジュンの軍車がひとりで燃え尽きたこと，

0030. 聖クリシナがドルトラシトラ大王とガンダリ太后をなだめて帰ったこと，

マハバーラト (03) / [10] 寝込み奇襲戦法の章

0001. アシワッタマがパンダウ軍を襲う作戦をクルブ尊者とクルトフルマに相談したこと、

0002. クルブ尊者とアシワッタマの対話、

0003. アシワッタマが大神シウさまを攻撃し、神力の影響を受けて帰依し、必殺の刀を授けられたこと、

0004. アシワッタマが寝込みを襲い、パンダウ軍とパンチャル国の勇士を全滅させたこと、

0005. ドルヨダンがアシワッタマからすべての知らせを聞いたあと、絶命したこと、

マハバーラト (03) / [10] 寝込み奇襲戦法の章

0006. ユディシテイル大王とドローパーディが、アシワッタマの殺害にビームセンを送ったこと、

0007. 聖クリシナが明かした、アシワッタマの過去の秘密、

0008. ナラド仙人とウヤス尊師がアシワッタマとアルジュンを制止したこと、

0009. パンダウたちがドローパーディのところに戻ってきて摩尼宝珠を渡したこと、

マハバーラト (03) / [11] 女性の章

0001. 悲しみに沈むドルトラシトラ大王を、サンジャイとビドウル大臣が説得したこと、

0002. ビドウル大臣が、ドルトラシトラ大王に恐怖から解放される方法を話したこと、

0003. 悲しみに沈むドルトラシトラ大王を、大聖者ウヤス尊師が説得したこと、

0004. クル地区に向かったドルトラシトラ大王が、途中でクルプ尊者ら三人の勇士と出会ったこと、

0005. ビームセンの違戒の攻撃に怒るガンダリ太后を、ウヤス尊師が諭したこと、

マハバーラト (03) / [11] 女性の章

0006. ガンダリ太后が戦場について女性たちの慟哭の様子を、聖クリシナに説明したこと、

0007. ガンダリ太后が多くの勇士の遺体を前にして、泣きながら聖クリシナに呪いをかけたこと、

0008. ドルトラシトラ大王とユディシティル大王の話し合い、戦死者の火葬、

0009. クンティがカルンの出生の秘密を明かし、ユディシティル大王が弟たちともども深く悲しんだこと、

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0001. ユディシティル大王を慰め、ナラド仙人がカルンの過去を話したこと、

0002. 出家して森にこもると主張する、ユディシティル大王へのアルジュンの反論、

0003. ユディシティル大王の出家遁世の意向に対する、ビームセンとアルジュンの猛反対、

0004. ナクル、サハデウ、ドロパディが、相次いでユディシティル大王を説得したこと、

0005. アルジュンの具申と、ユディシティル大王の心を王政に向けるためのビームセンの努力、

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0006. ビームセンを叱責するのを、アルジュンが諫めて先例を説いたこと、

0007. 大聖者デウスタンとアルジュンがユディシティル大王を説得したこと、

0008. 大聖者ウヤス尊師が、故事を話して、ユディシティル大王に領民保護の大切さを説いたこと、

0009. ユディシティル大王がアルジュンに再び悲しみの気持ちを吐露したこと、

0010. ウヤス尊師がユディシティル大王に、アシマ仙人の説話を聞かせたこと、

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0011. 多くの先王の事例を紹介しながら、聖クリシナがユディシティル大王を説得したこと、

0012. ウヤス尊師がユディシティル大王に、王者の義務について説いたこと、

0013. 罪とその贖罪、

0014. 贖罪の行為、不浄な食物、布施をする者の資格などに関する始祖人マヌの話、

0015. ユディシティル大王がハスティナプールの都へ凱旋したこと、

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0016. ユディシテイル大王の即位式、王政、そして物故者の供養、

0017. ユディシテイル大王が、四人の弟と家族に敬意を示し、各種の布施をしたこと、

0018. ユディシテイル大王が聖クリシナに促されて、ビーシムさまのところへ行ったこと、

0019. ビーシム長老による聖クリシナの頌徳、

0020. パルシュラーム仙人縁起、

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0021. ビーシム長老が感謝の念をこめて聖クリシナのご神徳を讃え、真理の説法をしたこと、

0022. ビーシムさまに聖クリシナが神約を授けて立ち去り、翌日再びそこに現れたこと、

0023. ユディシテイル大王がビーシムさまに質問を開始したこと、

0024. ユディシテイル大王の質問に答えてビーシムさまが説いた王の義務、

0025. 王道に適う行為について、

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0026. 王政のいくつかの手法について、

0027. 創造神ブランマさまの政治倫理学とプリトウ王の故事、

0028. 四種の種姓と四種の任期についてビーシムさまが説いたこと、

0029. 一般の戒律と王者の戒律に関する、天帝に扮したビシヌ神とマンダータ王との対話、

0030. 王の戒律と四種の任期の戒律、

マハーラト (03) / [12] 平和の章

0031. 民衆の向上のための王の重要性の確認と、ブルハスパティ仙人とワスマナ王の対話 ,

0032. 王の主要な義務と時劫の形成にかかわる刑法の役割について ,

0033. 現世と来世がともに幸せになるための、王の三十六の徳目 ,

0034. 王道についての説明、学徳豊かな顧問僧の重用とその利得 ,

0035. プラーマンとクシャットリの協力による威力の増大と、戒律に基づく王政について ,

マハーラト (03) / [12] 平和の章

0036. 高貴なブラーマンと低劣なブラーマンに対する、王の対応法とケカイ国王の故事，

0037. 困難なときにおけるブラーマンなどの義務と祭官の特徴，

0038. 友人と非友人の識別，

0039. 大臣の資質とカラクブリクシイ仙人の逸話，

0040. 王室会議などの特徴と王政の秘密を聞く資格，

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0041. 王政の実態と王都にふさわしい場所について ,

0042. 王国の安全と発展のための術策、および領民から貢税を徴収する方法 ,

0043. 道徳律に基づく王政と、それに伴う戒律護持の精神の必要性 ,

0044. 戒律の実践の功德と王の義務 ,

0045. 王政に関するワムデウ仙人の説法 ,

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0046. 戦争の掟に関する説明 ,

0047. 戦争に伴う大量殺人の贖罪と勇気と怯懦に関する説明 ,

0048. 隠者の生活、戦士の特質、勝利の兆候について ,

0049. カラクブリクシイ仙人の説法——領土、国庫、軍隊などが乏しい弱小国の王の義務 ,

0050. カラクブリクシイ仙人に外交の秘術を教わったクシュムダルシ王子が王領を得たこと ,

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0051. 母、父、師匠の世話、真理と非真理の見分け方、実用的な道德について、

0052. 悲しみの解消法と、人間の本質を見分けるための虎とジャッカルの寓話、

0053. 強者の前では身を低くし、愚者の話には耳を傾けないという戒め、王と家臣の徳性、

0054. 王道と刑法の本質に関する説明、

0055. 刑法誕生の秘話と、運用をクシャットリの手になねられるに至ったいきさつ、

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0056. 戒律、富、仕事の本質とアンガリシト王とカマンダク仙人の対話、

0057. 仁愛の真実——天帝と魔神プラハラードの物語、

0058. 閻魔大王とゴータム仙人の対話、危急存亡のさいの王の義務、

0059. 危難のさいの王の義務と、規則を守る強盗団の得る功德、

0060. 国富の増強を願う王の戒律と、三匹の魚の危難への三種の対応、

マハーラト (03) / [12] 平和の章

0061. 敵に包囲された王の戦略とねずみと雄猫の物語 ,

0062. ブラムダット王とプジニ鳥の対話、およびブラーマンの世話の偉大な功德 ,

0063. 救いを求める者の保護に関する、獵師と鳩美婦の物語 ,

0064. 無知ゆえに犯した罪の消滅と、ジャナメジャイ王とインドロト仙人の故事 ,

0065. 死者の蘇生、ブラーマンの死児が生き返った話 ,

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0066. 強大な敵の攻勢から身を守る方法と、それに関するセマル樹と風の対話 ,

0067. 貪欲の罪、善人の特徴、無知の悪、自制心の長所 ,

0068. 苦行と真理の賞賛、憤怒欲望などの害悪、残酷な人間の特徴 ,

0069. 罪と贖罪 ,

0070. 戒律、富、仕事、解脱に関するビドウル長老とパンダウたちの考え ,

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0071. 友だちにしてよい者、してはならない者の特徴、忘恩の極悪人ゴータムの話、

0072. 悲しみを癒すための、セナジット王とブラーマンの対話、

0073. 幸せを願う者の義務に関する、父と子の対話、

0074. 幸、不幸の識別と放棄の功德、

0075. 欲望放棄に関するマンキの例と、非身の王ジャナクとボツデヤ仙人の話、

マハーバート (03) / [12] 平和の章

0076. 仙人たちの生活に関する、プラハラードと世捨て人ブラーマンの対話，

0077. 正しい知見の必要と、それに関するカシャプ仙人と天帝の対話，

0078. 世界と肉体の本質についての説明，

0079. 生命の永遠性とカ、種姓の発生とその役割，

0080. 真理の威力、虚偽の悪、布施の功德、住期の戒律について，

マハーラト (03) / [12] 平和の章

0081. 日常行動の規範と、内面の神について、

0082. 瞑想の行と、誦呪の功德を明かす称名念誦の行者の話、

0083. 始祖人マヌがガンヨーグ（知識の行）などの功德と最高神の本質について説いたこと、

0084. 魂の不可思議性、

0085. 魂の内観の方法、

マハーラト (03) / [12] 平和の章

0086. ビシヌ神から世界が誕生したことと、神の化身神猪の話、

0087. 師弟の対話に言及しながら、行と善についての説明、

0088. 諸悪から解放されるための知恵、解脱と梵行の誓いに関する説法、

0089. 解脱のための努力に関する説法、

0090. 大聖者パンチシカ仙人がジャナク王に説法したこと、

マハーバート (03) / [12] 平和の章

0091. 自制心の礼讃、祈誓と苦行の功德、プラハラードが天帝に説法したこと、

0092. ナムチ魔神と天帝が、対話の中で語った死魔王の威力、

0093. 吉祥天ラクシミ女神が、魔神と悪魔の発生と死滅の秘密を語ったこと、

0094. 聖クリシナがウグラセン王にナラド仙人の聖徳を説いたこと、

0095. ウァス尊師が時間の本質と創造と破壊の秘密を説いたこと、

マハーバート (03) / [12] 平和の章

0096. 破滅に至る道筋、ブラーマンに対する布施の功德、ブラーマンの義務、

0097. 知識による解脱の体得、禪定の助力、七種の信念についての説明、

0098. 知恵の賞賛、生類の序列、知識の手法とその威光、

0099. 行によって最高神を体得する方法、

0100. 仕事と知識の違い、そして梵行期についての説明、

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0101. 家住期、林住期、隠棲期についての説明、

0102. 魂の知恵とその取得、

0103. 神知の体得とその功德、欲望という名の樹木を切る方法、

0104. 五大元質の特質と戒律についての説明、

0105. ビーシムさまがジャジリ仙人とツラダル商人の対話について話したこと、

マハーラト (03) / [12] 平和の章

0106. ジャジリ仙人に、ツラダル商人と鳥が説法した話、

0107. ビチクヌ王による不殺生戒の礼讃とチルカリの話、

0108. 不殺生を基本とする王政に関する、デュマツセン王と息子サツチャワン王子の対話、

0109. カピル仙人が求道者スユマルシミに、解脱を主とする戒律の卓越性を説明したこと、

0110. 宇宙の最高原理の体得が可能であることと、宇宙の最高原理の本質についての確認、

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0111. 戒律の重要性を信じたあるブラーマンと天使クンドダルの話 ,

0112. 罪、持戒、出家、解放から解脱に至るまでの手順についての説明 ,

0113. ナラド仙人とデフル仙人、マンダッビヤ仙人とジャナク王の対話 ,

0114. 隠棲者の状態、行為と戒律についての説明 ,

0115. 創造と破壊の説明に関連して、ビーシムさまがブルトラ魔神の話をしたこと ,

マハーバート (03) / [12] 平和の章

0116. 天帝によるブルトラ魔神の殺害 ,

0117. ダクシ創造主の祭祀の破壊 ,

0118. ダクシ創造主がシウ神に捧げた頌徳の賛歌 ,

0119. ナラド仙人がガーラウ仙人に吉祥の説法をしたこと ,

0120. アリシトネミがサガル王に説いた解脱に関する説法 ,

マハーバート (03) / [12] 平和の章

0121. ジャナク王へのパラシャル仙人の説法 ,

0122. ジャナク王の多くの質問に対する、パラシャル仙人の回答 ,

0123. 覚者たちへの白鳥の説法 ,

0124. 数理論 (寂滅の行) と実践の行の違いを述べながらの行道についての説明 ,

0125. 数理論 (寂滅の行) の説明 ,

マハバーラト (03) / [12] 平和の章

0126. 滅・不滅の真実について論ずる、カラルジャナク王とワシスト仙人の対話，

0127. 無知ゆえに輪廻転生を繰り返す生類についてのワシスト仙人の説明，

0128. 魂と自然は別ということ、および実践の行と寂滅の行に関する考察，

0129. ある高德の仙人が、ワスマン王子に説いた戒律に関する説法，

0130. ヤッギヤワルッキヤ仙人がジャナク王に説いた説法，

マハーラト (03) / [12] 平和の章

0131. 実践の行と死の徴候についての説明 ,

0132. ヤッグヤフルッキヤ仙人による解脱についての説明 ,

0133. ウヤス尊師が息子シュクデウに与えた説法 ,

0134. 布施、祭祀、苦行などの功德の説明とシュクデウ尊者誕生の秘話 ,

0135. シュクデウ尊者がミティラ国へ行って、ジャナク王の宮殿で歓待されたこと ,

マハーラト (03) / [12] 平和の章

0136. ジャナク王がシュクデウ尊者を礼拝し、質問に答えたこと、

0137. 家に帰ったシュクデウ尊者に、父親のウヤス尊師が学習の方法について述べたこと、

0138. シュクデウ尊者に授けたナラド仙人の説法、

0139. ナラド仙人の説法を聞いたあと、シュクデウ尊者が太陽の国へ行く決意をしたこと、

0140. シュクデウ尊者の得た解脱の最高位と、大神シウさまが悲しむウヤス尊師を慰められた話、

マハーバート (03) / [12] 平和の章

0141. バドリカアシュラムにおけるナラヤン神の説明で、ナラド仙人の疑問が解消したこと、

0142. ビーシムさまがユディシティル大王に明かした密教発生の秘話、

0143. エカトなどの仙人がブルハスパティ仙人に、白い島と最高神の威徳について諭したこと、

0144. ナラド仙人が無数の名をあげて最高神の威徳を讃えたこと、

0145. ナラド仙人が白い島でナラヤン神を拝観し、未来の神の化身に関する予言を聞かされたこと、

マハーバート (03) / [12] 平和の章

0146. 聖クリシナがアルジュンに、数多くの自分の名前について説明したこと、

0147. ナラド仙人とナル・ナラヤンの対話、およびソウティ仙人による神の威徳の説明、

0148. ハイグリーウ（馬頭の化身）の出現、ナラヤン神のご神徳、信仰の戒律の伝統について、

0149. ブラーマンが、太陽の国から帰ってきた龍王に落ち穂拾いの生活の功德を聞いたこと、

